

アルヘキ事將軍在城ノ鬼門ヲ守ル故御骨肉ノ君佛法御修業御住職之
レアルトキハ天下泰平國家安全ノ基トスルナリ、第十八ノ事。

右十八ヶ條ノ趣君ニ對スル定目タリ、相立候モノ恐レ奉ル所ナリ、然リ
ト雖勅命ヲ蒙リ今般武家政道國家太平致スヘキ理ノ定目十八ヶ條紫
宸殿ニ懸ラルヘク候是レ則チ勅命ニ應シ奉ルナリ、仍テ件ノ如シ。

○二 節 公 武 法 制 ノ 法 理 熟々公武十八條ノ大旨ヲ察スルニ第一

ニ日本ノ君主ハ天皇タルコトヲ明認ニシテ三種神寶ヲ遵重シ伊勢神
宮ヲ經營シ、次ニ關東將軍ハ天皇ノ委任ニ依リ奏聞ヲ經スシテ政道ヲ
行ヒ四海鎮平ナラサルトキハ自ラ其ノ責ニ任スヘキモノナルコトヲ
確言セリ、即チ武家預リ奉ルモノハ公家國政ユルクシテ國鎮スルコト
叶カマシ今上皇帝據トコロナク往昔政道致スヘキ旨家康勅命ヲ蒙ル
ナリトアルニテ知ルヘシ、而シテ關白ノ職權ヲ以テ親王攝家以下ヲ支

配スヘシト定メタルモノナリ。又朝臣ニ至リテハ之ヲ全ク政事ノ外
ニ措キテ傳奏朝禮及故實ヲ修メシメ諸侯ノ參朝ヲ禁シテ武家ト朝廷
トノ直接ノ交通ヲ絶チ爵位ハ尙ホ天皇ヨリ出ツルモ必ス將軍ノ媒介
ヲ經ヘキモノトシタリ。家康文事アリ、大義ニ通セサルニ非ス、然ルニ
朝廷ノ政勢ヲ削クコト斯ノ如クナリシ所以ノモノ蓋シ故アルナリ。

第三十章 家康百箇條

○節一家康百箇條ノ由來 家康一代計畫ノ大綱ハ公武法制十八
 ケ條ニ於テ明ナリ、然ルニ公武法制ハ主トシテ朝廷幕府ノ關係ヲ定メ
 マルモノニシテ幕府ノ編制ハ第十二ニ尾紀兩家ノ事アリ、第十四ニ水
 戸家副將軍ノ事アルノミナリ、而シテ德川一家ノ家典トモ政策トモ謂
 フヘキハ家康百箇條ナリトス。家康百箇條ハ之ヲ德川百箇條ト混同
 スヘカラス、德川百箇條ハ德川氏ノ刑律ヲ編纂シタルモノニシテ松平
 定信ノ手ニ成ルモノナリ、家康百箇條ハ家康カ隨時下筆シテ子孫ニ垂
 教スル所ナリ、故ニ曾テ之ヲ公布セズ、寶庫ニ秘藏シテ代々將軍ノ外ハ
 時々大老ニ内示セラレタルノミナリト云フ。其ノ末條ニ書シテ曰「我
 カ建ツル所ノ條々ハ治國平天下ノ大綱則テ將軍ノ職分ナリ、具ニ我カ

子孫ヲ遺訓スルニ至テハ山筆海墨之レヲ盡ス能ハス、唯我カ志ヲ寫シ
 テ一卷ト爲シ、付屬ス我カ百年ノ後ト雖、此ノ條目ニ照シ志ヲ觀ヨ子孫
 之レニ違背スル者之レ有テハ將軍ノ器ニモ當ラズ、我子孫ニモ非ス」ト。
 ○節二 仁教ニ關ル條々 德川氏ノ一統仁教ヲ以テ本據トシタルコ
 トハ左ノ條々ヲ以テ之ヲ見ルヘシ。

- 一、武威ニ傲リ帝位ヲ蔑ニシ天地君臣ノ禮ヲ濫ルヘカラス、凡國ヲ有ツ
 職分ハ民ヲ安祥ナラシムルニアリ、先祖ヲ輝カシ子孫ヲ榮エシムル
 ニ非ス、湯武ノ聖德モ此旨ヲ主トスヘシト知ルヘシ。
- 一、文武皆仁ヨリ出ツ、千經萬機ト雖其ノ理同シ、治國平天下ノ法茲ニア
 リト知ルヘシ。
- 一、天下ハ天下ノ天下ニアラス、又一人ノ天下ニ非ス、唯仁ニ歸スルコト
 深ク研究スヘキ事。

一、仁ハ己レニ在リ四經九經自ラ備ル、此旨一日モ離ルヘカラサル事。
一、本朝ハ神武顯明ノ地ナレトモ文學異域ニ劣レリ、宜シク學校ヲ設ケ之ニ依リ國家ノ盛チ鳴ラサシムヘキ事。

一、天理ノ公己ニ知ルトイヘトモ其行正シカラサレハ其罪知ラサルヨリモ重ク、家ヲ亡シ國ヲ亂シ、災必ス興ラン、過チ知リ改メサルチ過チトシルヘキ事。

一、三代ノ天下チ失フモノ夏ハ桀ニ至リテ禹王ノ制教チ忘レ、殷ハ紂ニ至リテ湯王ノ聖典チ亂リ、周ハ幽厲ニ至リ文武ノ政事チ懈ル、秦漢以來歷代皆然ラサルナシ我子孫モ亦我規條ニ相違スレハ則チ又之ニ殊ナルナケン、此旨皆然リ、將軍代々ノ龜鑑タルヘキ事。

一、君ハ民ノ愛チ知ラス、民ハ君ノ患チ知ラサレハ惡政ナシト云フトモ暴行自ラ出ツ、國君仁チ好ム天下敵ナシトハ此理タルヘキ事。

一、萬國ノ辜咸チ帝位ノ不徳ニ歸ス、天下ノ不平皆將軍ノ不肖ニ歸ス徳ハ共ニ一心ニアリ貴賤隔テサルノ地ナリ、上タル者暫クモ遺失スヘカラサル事。

一、仁天下ニ及ヒ即チ内外尊鄙チ隔ツルコトナシ、日月ノ照ス所淨穢チ阻テサルナシ、聖人之ニ依リ法チ立テ、親疎ノ次第階級三綱八條確乎トシテ拔クヘカラサルノ規ヌリ、一人天下ニ將ダレハ則諸士皆臣ダリ、四海チ臣トスルニ非ス、他家當家外様旗本ノ差アリ、他家ハ皆時ノ權柄ニ依ルモノナリ、譜代ノ士ハ由緒當家ニアリ、其先祖一々忠勤ノ士ナリ、記録ニ載スル所明ニ見ルヘシ、其親愛他家ニ越ヘ他家墳ヲサルモノ其本ニ本ツクニ由ルナリ、乃チ天理ナリ、將ノ法ナリ、士ノ道ナリ、仁ノ術ナリ、志之チ懈ル者ハ我カ子孫ニ非サル事。

○三權力編制ニ係ル條々 徳川氏權力編制ノ根本ハ紀尾兩家、

水戸副將軍家、譜代大名及外様大名ノ組織ニアリトス。其ノ兩家及副將軍家ノ事ハ公武法制ニ見エタリ。譜代トハ叅州以來德川氏ノ家臣タル者ニシテ此等ニハ重職ヲ與ヘ又ハ之ヲ國中要害ノ地ニ置キタルニ代ヘテ其ノ祿ヲ薄クシ、萬石以上ヲ譜代大名ト云ヒ、萬石以下ヲ旗本ト云ヒタリ、常率ハ御家人ト云ヒタリ、外様トハ新ニ德川家ニ屬シタル諸大名ニシテ祿ハ重ケレトモ政權ニ與ラス、且將軍ニ對シ隔年交代シテ江戸ニ勤番シ、及賦課ニ應スルノ義務ヲ負擔シタリ。即チ左ノ條々アリ

一、攝州川口落城以後國司領主及士大夫我ニ屬スル者大小八十八人記祿ニ載スル如シ、是ヲ外様ノ寶伏トス、各隔年交代述職セシム、巡檢ノ代ト爲リ民家ノ安否ヲ檢スヘキ事。

一、譜代諸士凡ソ八千二十三騎同シク記祿ニ載スル所ナリ、右ノ内十八騎我參州ニ在ル日ヨリ古家此ニ書ス、大久保、金森、板倉、土井、大島、阿部、安藤、堀田、永井、小笠原、枋木、土屋、太田、山本、長崎、京極、岡崎、中根此等ノ門葉ノ内器量ヲ撰テ執權職ニ當ツヘキ事。

一、江府居城ハ繩張自然ト運機ニ應シ附庸列ナツテ而シテ之ヲ圍ム、山海ノ便アリ土地モ豊饒ナリ、仍テ子孫ノ本城トナス、附庸ハ小田原川越岩附高崎忍前橋關宿佐倉古賀宇都宮下館笠間鳥山結城小見川等ナリ此レ等ノ城主ハ譜代股肱ノ臣ニ附シヘキモ外臣ニハ附與スヘカラサル事。

一、二條大阪駿府三ヶ所ノ城地ハ譜代ノ士ヲシテ在番セシム、西海ノ安否ヲ驗スルモノナリ、大變アルニ及テ上中下三將軍ヲ附與シ天兵三城ノ戍ト爲スヘキ事。

一、人ヲ用ヒオチ擧タル法譜代ノ士ヲ閣キ外様ノ士ヲ登サハ則チ内據

ミ外侮ニ、忠臣自ラ喪ヒ人毎ニ聖賢ニアラサル必然ノ理ナリ、此趣尤思慮スヘキ事。

一、外様譜代ニ限ラス數年ノ間領地ヲ引キ替ヘシムルハ、久シク其地ニ馴ル、アレバ則チ領主ノ志予弱ニシテ自ラ私慾ヲ恣ニシ、竟ニ其民ヲ苦シムルニ至ル故ナリ、地ヲ易ヘシムル事ハ其行跡ニ依ルヘキ事。

一、縦ヘ他家外様國司タリトモ志當家ニ伏スル者アラハ熟ラ其行跡ヲ鑑シ衆議譜代ニ攝スルニ於テ妨ケサル事。

○節將軍訓戒ノ條々 家康カ時ニ代々將軍トナルヘキ者ノ爲ニ、訓戒トシテ立テタル條々左ノ如シ。

一、世ニ世續ナケレハ則チ井伊本多榊原酒井等ノ老臣委ク相評シ相議シ相定ムヘキ事。

一、我立ツル所ノ條目ニ相背カハ嫡子實子ト雖家督相續セシムヘカラ

ス、大老臣及老臣ト相評シ家門ノ内其器ニ當ル者ヲ撰テ立ツヘキ事。一、凡業ヲ成サント欲スレハ我條目ヲ擧ケ老臣ト共ニ相議シ、君臣合休シテ之ヲ行フヘシ暫モ私意ヲ恣ニスヘカラサル事。

一、政道忽カセナレハ則チ亂統起ル、厲ナレハ則チ人民疲ル、忽カセナラス勵シカラサルノ間ニ中立スルヲ將法ヲ知ルト謂フヘキ事。

一、劍篋中ニ輝キ夷狄ヲ伏從スルヲ劍徳トナス、鞘ヲ離ルレハ則チ劍徳ト稱スヘカラス、武ハ懐胞ニ潜ミ、敵軍ヲ屈服スルヲ武徳トナス、陳ヲ出ツレバ則チ武ト爲スニ足ラス、將軍ノ任タル者尤モ此理ヲ明カニスヘキ事。

一、武ノ武タル道ヲ辨ヘス士ノ士タル理ヲ明カニセサレハ則チ愚將鄙將ニシテ良將ト云ハス、韜畧知計人ニ勝ルト雖征夷將軍ニ當ルニ足ラサルヲ知ルヘシ。

一、守リ教ノ如クナレハ則チ賊徒窺フ能ハス、然レトモ異域本朝其守ル處ヲ破ラレ、チ察スルニ皆酒ヲ嗜ミ色ニ耽ルノ間ヨリ出テサルハナシ、止ムヲ得ス之ニ溺ルレハ自殺シテ職ヲ破ルヘキ事。

一、尋常ノ勤我條目ノ如ク背カサレハ則チ賢才ノ地ニ遠シト雖、以テ大過ナカルヘキ事。

一、我本朝異域ノ祖ヲ見ルニ皆天ニ命スルノ人ナリ、然レトモ其遠孫モ亦久シク其位ヲ保タサル者其祖ノ遺訓ヲ用ヒサル故ナリ、其過左ニ記ス。

一、清和源姓ハ爲義ニ至リ貞純ノ家訓ヲ亡ヒ、嵯峨源氏ハ義憲ニ至リ惟基ノ嘉牒ヲ失ヒ、宇多源氏ハ秀包ニ至リ盛吉ノ家訓ヲ忘レ、清原統中臣橘菅原在原江家豊原ノ孫皆久シカラスシテ廢ル、遠孫開祖ノ教ヲ忘レタリ。

一、家督相紹將軍宣ノ席諸侯述賀ノ日、前連牒ノ如ク血印君臣ノ禮簿ニ背カサラシム、其身ニ於テモ我遺狀ニ背カサル誓辭ヲ爲シ、互ニ會盟忘失スヘカラサル事。

一、我少年ヨリ金銀珠玉ヲ寶トセス、唯善以テ寶トナシ、今自然此職分ニ至ル、學ヘハ則祿其中ニアルノ金言ヲ感戴廢セス我志ヲ續クヘキ事。
一、世ニ大丈夫ト稱セラル、者忍一字ヲ能クス、忍ハ則私慾ヲ制スルナリ、喜怒憂思悲恐驚ノ七種皆此ニ出ツ之ニ溺レサル則チ忍ナリ、我未ダ大丈夫ナラスト、唯忍字ヲ持ツ久シ、我子孫我人トナリチ慕フアラハ五典九經ノ外忍ヲ守ルヘキ事。

一、己レノ好ムヘキヲ避ケ專ラ己レノ嫌フ所ヲ務ムヘキ事。

○五 士 分 訓 戒 ノ 條 々。德川幕府ノ權勢ハ武道ニ基キテ立チタルヲ以テ、武道壞敗セハ幕府モ亦必ス衰亡ヲ免レ難シ、依テ家康特ニ武家

諸法度ヲ立テ代々將軍ヲシテ執職ノ始メ頒布セシメタルノ外百ヶ條中又左ノ條目ヲ設ケタリ。

一、武家諸法度ハ右大將家例ニ任セ別記ス、然レトモ損益ニ於テハ時ノ風儀ニ從ヒ宜シク之ヲ補フヘシ

一、宣下將軍ノ勅答六十六ヶ國總高二千八百十九萬石ノ内二千萬石忠勤ノ諸士ニ配當セシム、八百十九萬石ノ所之ヲ領シ、禁庭營衛ノ條々ニ備上クヘシ、全ク鎌倉殿以來將軍ノ古式タリ。

一、治世ニ亂世ヲ忘レサル言ヲ以テ講代士ニ策リ、武術懈ルヘカラス、其身ニ於テ慎ムヘキ事。

一、劍ハ武士ノ靈ナレハ、失却ノ人ニ於テ許サ、ル事。

一、弓鐵砲槍長刀劍術ノ類等ハ皆藝能ニシテ一騎具ナリ、凡士タルノ法斯ノ如キ小技ニ非ヌ、況ヤ兵ニ將タル者ヲヤ、未タ之ニ及フ能ハスト

雖、伊尹呂望ノ質ニ倣慕フヘキ事。

一、武家仕付方行跡ノ準繩本朝ノ禮式トシテ後小松院御宇細川一色小笠原等ノ三家ニ勅シ製成セシム、尤又敗ルヘカラサル事。

○六節 臣下待遇ノ條々 徳川氏ノ政權永續シタル所以ノ一ハ臣家

ノ待遇其ノ宜シキヲ得タルニ在リ、即チ百箇條中左ノ條々アリ。

一、權臣ニ附シ讒言ヲ納ル、者ヲ佞臣ト心得、全ク諂容ナク言行正直ナル者ヲ忠臣ト知ルヘキ事。

一、我先祖ニ忠ナルノ臣其子孫行跡正シカラスト雖、叛逆ノ外其家沒收スルニ及ハサル事。

一、近臣ノ内我意ニ準スル者アリトモ、老臣ノ威ヲ奪ハシムヘカラサル事。

一、陪臣假令高祿タリトモ將軍ノ直臣ニ對シ、儀式家門ニ同然タルヘカ

ラサル事。

一 下賤ノ輩諸士ニ對シ等ヲ踰ヘ、或ハ諸士ノ内陪臣モ亦直臣ニ對シ寬
怠アル、討捨ニ於テ妨ケサル事。

一 諸士列ノ高下相爭ハシムヘカラス、役附ノ大小ニヨリ座席ヲ區別セ
シムヘシ、縱ヘ同役同席タリト云フ共高下ヲ爭ハシムヘカラス、先ツ
官祿多少ヲ以テシ又先ツ役付ヲ上トシ、或ハ年老ヲ以テ上トシ互ニ
謙退ヲ主トセシムヘシ、我老ヲ老トスル所ナリ。

一 大老社稷ノ臣年衰ニ及ヘハ、武王周公ニ對スル禮ヲ以テスヘキ事。

一 妻妾ノ縁ニ陥リ志士ノ功ヲ微ミスヘカラス、千經萬機ト雖其斷同シ
治國平天下ノ法茲ニ在リト知ルヘシ。

一 兵書ニ皆言ク士ヲ懷クルニ若クハナシト、懷クルニ品アリ、謀ヲ以テ
懷クニ非ス仁ニ懷クナリ、上仁ヲ好テ下義ヲ好マサル者アラサル事。

一 醫ハ三世ヲ過クルヲ醫師ト謂フ、士ハ三代ヲ經ルヲ古臣ト稱ス、君臣
ノ間三代ヲ經ルヲ譜代ト稱ス、一朝ニシテ言フニ非ス、天蓋ヒ地載ル
ハ君臣ナリ、譜代士ニ於テハ輕々敷思慮スヘカラス。

○七 舊格保守ノ條々 守成ノ要ハ舊ヲ繼キ新ヲ去ルニアリ、貞永
建武ノ式目モ皆右大將家二位尼ノ處分ヲ改ムルコトヲ戒シメタリ、而
シテ家康百箇條ヲ立ツルニ當リ、舊守ヲ勸メ改新ヲ戒ムル特ニ嚴重ナ
ルモノアリ、左ノ如シ。

一 凡テ萬般古法ニ準フヘシ、新規ノ事停止スヘキ事。

一 縱ヒ錯事ニ之レ有ルト雖五十年來誤リ來リ候事ハ相改メマシキ事。
一 政ハ當家古例ニ準ヒ他家ノ古例ヲ用ユヘカラスト雖、然レトモ一度
將軍ニ任スル人ノ致シ置ク事ハ不易タルヘキ事。

一 四海征伐ノ權ハ將軍家ニ勅許シ總追捕使ト謂フ、將軍天下ニ令スル

所天下ノ大法ナリ、然レトモ其國其郡ニ國風アリテ、關東ノ風儀ハ坂西ニ用井難シ、南北モ皆然リ、上古ノ例ニ任ヒ相改マシキ事。

○八地方行政ノ條々 諸大名ハ其ノ國郡ノ政治ニ就キテ言ヘハ國司ナリ、即チ行政事業ノ中、軍政、外交、財務ハ幕府ニ於テ行ヒ、内務及司法ノ二事ハ之ヲ國司ニ委任シ、各州自治ノ權ヲ行ハシメタリ、然レトモ江戸、京都、大坂、長崎、駿府、甲府ハ幕府ニ於テ直轄シタリ、依テ百箇條中國司及直轄地方行政ニ付キ左ノ條目ヲ立テタリ。

一、古賢ノ語ニ人ヲ養フ者人ヲ治メ、人ヲ治ムル者人ヲ養フ、天下ノ通義ナリト云フ、凡ソ四民ノ内士ハ農ヲ治メ、農ハ士ヲ養フ、此ニハ工商ノ上ニ居ル、我熟、歷世ノ亂流ヲ考フルニ、此二物ヲ辨ヘス、故ニ天子ハ位ヲ失ヒ將軍ハ武ニ背キ諸士ハ家ヲ亡ス、仁ヲ其間ニ挾テ一日モ懈ルヘカラサル事。

一、遠國在々農家一樣マリト雖、其村々其所々ニ古來由緒アルノ長ヌル者アリ、平百姓ト同シテ同カラス、古來ノ者ヲ擇テ守役ニ宛ツヘシ、下位ニ居リ上ヲ凌カシムヘカラス、天下ノ大規ナリ、外様譜代ニ限ラス國司領主及代官ノ者ヘ此旨申渡スヘキ事。

一、國境村境山川境領分境田畑屋敷境森林付ノ田畑或ハ穀干等ノ場蔭カサ伐ノ條目ハ、決斷所ヘ差出ス通り是レ又忽ニスヘカラサル事。

一、新田開發願出ツル輩アラハ吟味セシメ故障之レ無キニ於テハ之ヲ容ルヘシ、槩ノ式ハ右大將殿ヨリ始メ此旨役人共ニ申シ付クヘキ事。

○九司法裁判ノ條々 裁判ヲ公平ニシテ其ノ執行ヲ嚴密ニスルハ庶人ヲシテ歸服セシムルノ一大原因ナリ、京都政府ノ實力ヲ失フニ當リ、四方ノ民甘シテ北條氏ノ命令ヲ奉シタルハ其ノ裁判ノ公平ナリシニ因ルコト前述ノ如シ、即チ各州ノ司法事務ハ大名ノ自治ニ委任シ

タリト雖、幕府直轄ノ人民ニ對スル司法權ハ幕府之ヲ行ヒタルニ由リ
百箇條中左ノ條目ヲ立テタリ。

一古式ノ如クシテハ決斷所ヲ建テ我差出ス條目ニ照シテ貴戚ヲ憚ラス

鄙陋ヲ凌カス萬民ヲシテ理非明白ナラシムヘシ、特ニ此職ニ任スル

輩ハ天下ノ政道ノ大綱タリ、詳ニ其人ノ性質ヲ鑑ミ、老臣ト之ヲ議シ

左右擇テ其職ニ任スヘク、必シモ容易ナルヘカラス。

一奉行頭人賄賂ニ憑リ法ヲ曲クル者ハ乃チ法賊タリ、厥罪謀叛ニ等シ

ク死刑ヲ許ス可カラサル事。

一懲惡ノ五刑法梟首磔罪火罪斬罪古ヘヨリ異域本朝其品均シカラス、

右大將家記録ニ準ヘ執行スヘシ、大辟ノ刑ハ王位ナラサレハ許サ、

ル事。

一賞刑ノ二法ニ於テハ壹人ノ眼力ヲ以テ賞スヘカラス刑スヘカラス、

衆士相賞シテ之ヲ賞シ衆士相刑シテ刑スヘキ事。

一喧嘩口論双方制敗ス、但物ニ依リ仕除タルヘシ、搦ヲ去ル後ハ相改ム

ルモ及ハス、討タル、者ノ子葉トモ敵討願ハ簿ニ記シ願ニ任セ申ス

ヘシ、然レトモ重敵ハ停止スヘキ事。

一親師ヲ殺シ主人ヲ殺シ、法外暴惡ニ依レハ亦法外ノ刑ニ當ツヘシ、勿

論十類ニ至ルマテ没スヘキ事。

一君臣父子夫婦兄弟朋友五物亂レサルヲ以テ人ノ大倫トナス、凡士ト

シテ自然之ニ適フ者十二八九之レ有リ、其中夫婦ノ倫ヲ亂ル者貴賤

高下ニ限ラス時トシテハ之レナキ能ハス、或ハ私通、或ハ密懷、其罪露

顯ニ及テハ双方之ヲ刑ス、古今ノ常轍ナリ、侍士侍女朋友ノ間ニ至テ

ハ其科其刑同斷、匹夫下賤ノ族ニ於テハ刑ヲ許スハ其夫ノ心ニ任ス

ヘク、陰陽合体ノ人民惡ムヘキ科ニアラス、刑罪スルニ斟酌アルヘキ

事。

一 毎月一タヒ決斷所ノ奏狀ヲ點檢シ、不審アレニ於テハ當役ノ人ヲ尋問シ、奉行ノ賢否ヲ相改タムヘキ事。

一 總テ刑戮ノ多キハ、則チ上天子ノ不徳下將軍ノ耻辱ナリト知テ深ク思慮スヘキ事。

一 法ハ理ヲ敗ルアリ、理ハ法ヲ敗ルナシ、故ニ聖人衆理ヲ極メ大法ヲ立テ政道ヲ決斷シ、告クル所之レナキ時ハ迷フ事アリ、即チ理ヲ破ルニ法ヲ以テスヘク必ス法ヲ破ルニ理ヲ以テスヘカラサル事。

一 三公九卿諸ノ面々勅勘左遷ノ罪ヲ蒙リ給フ時ハ大祿國司ニ命シ遠流ニ處セシムヘシ、不禮ナルヘカラス、罪ヲ匡ズ法四民ト同シカラサル事。

○十財政、外交、風紀ノ條々 財政ニ關スル條々左ノ如シ。

一 國司領主軍役公務大法、千石五騎、萬石五十騎、十萬石五百騎、二十萬石千騎是ヲ一軍ト定メ、三軍ヲ帥非シメ、上將軍トナス、五百騎ヲ帥非ルヲ中將軍トナス、二百五十騎ヲ帥非ルヲ下將軍ト爲ス、諸役其積ヲ以テ申付テヘキ事。

一 諸國諸役年貢ノ外運上ノ事、人民ノ冥加金將軍家之ヲ納メ諸士ニ宛テ行フ、知行ノ外差與ヘ役料ノ資ト知ルヘシ、是レ又鎌倉殿ノ權與タル事。

外交ニ關スル條々左ノ如シ。

一 肥州長崎ハ外域ヨリ着船ノ津ナリ、股肱ノ臣ヲシテ之レヲ官領セシメ、譜代ノ諸士ヲ撰ミ、之レニ附シ、隣國大家ニ命シ警衛トナシ、本朝神武ヲ萬國ニ振フヘク、崎陽ノ外船ノ着津堅ク禁止スヘキ事。

一 異國來聘ノ饗應ハ古格ノ如ク禮聘盛末ナルヘカラス、本朝ノ聖德神

武ヲ照スヘキ事。

風紀ニ關スル條々左ノ如シ。

一、四民ノ外穢多^{カク}哺^ク嚙^ク瞽^ク男^ク盲^ク女^ク告^ククルナキ族ハ古來之ヲ憐ミ活ヲ與フ、是レ仁政ノ始成ルト知ルヘキ事。

一、遊妓白拍子治童夜發ノ輩ハ一國城都及繁榮ノ地ニ必ス來ルアル者ナリ、人ノ行跡之ニ依テ破ル、事多シト雖、堅ク之ヲ禁止スレハ則チ不義ノ大失日々起リ、博奕酒狂淫奔ノ類ハ大法タルヘキ事。

一、謠歌ハ音曲ノ本故上古ノ聖人ニ始マル、五行ノ變化響キナキ能ハス、聖人之ヲ採リ樂器ヲ作り人民ヲ和ス、樂ハ中古盛行ヲ依リ武門之ヲ翫ヒ、鬱情ヲ展ヘ大平ヲ祝延シ万民ヲ和スヘキ事。

一、舞樂ノ品一樣ナラス、天子ノ樂アリ、諸侯ノ樂アリ、士大夫及下位ニ至リ各品ヲ同フセス、必過不及ノ間ニ附シ相行フヘキ事。

○十一 信教條々 神社佛寺ニ關スル條左ノ如シ。

一、儒ト神道ト釋ト其品ハ區別スレトモ善ニ導キ惡ヲ罰スルニ過キス、其所見ニ隨ヒ之ヲ宗トシ之ヲ旨トス、妨ケサル所ナリ、然レトモ議論ニ於テハ堅ク停止スヘシ、我往昔ヲ見ルニ天下ノ不吉ナリ。

一、寺社山伏等ハ優民ダリト雖、往古以來四海ノ内無カルヘカラサルモノナリ、或ハ繼席或ハ位階等ニ於テ相爭ヒ、敗訴ニ及フアレハ是レ又天下ノ不吉例ナリ、仍テ條規ヲ立テ決斷所ヘ之ヲ指出シ、之ヲ評定セシム、然レトモ勅願所ニ於テハ私意ニ任スヘカラサル事。

一、吉凶禍福ハ天理自然ニ任スヘシ、必スシモ知計ヲ廻ラシ願求メテ致スヘカラサル事。

○十二 官吏職制ノ條々 德川幕府ノ官制ニ關シテハ、百箇條中ニ左ノ大目ヲ擧ケタリ

一、征夷大將軍家内外當役附位階ノ定式大抵鎌倉殿ニ倣ト雖國風時宜
 ナ交テ補叙シ具ニ記シテハ諸士チシテ志懈ラス忠勤ヲ勵マシム
 ル處ナリ寫テ龜鑑トナシ門衛ニ掛ケ是ヲ顯スヘシ故ニ之ヲ記ス

大老職 大留守代 大老中 大老代 大老中 大老代
 久留守居代 西九留守者 大高目付家 小寺社奉組行
 大與院組組 中與番從組 大與番組 伏見諸士代
 町奉行 勘定奉行 美客間役人 居間詰番
 記録掛組 持奉行頭 長柄頭 旗物奉行頭
 先鋒組 勘定平役者 表外科目付道 外側目付頭
 吟味役頭 勘定平役者 伊黑資組者 小丁人組者
 使奉行 賄目付 伊黑資組者 小丁人組者
 使奉行 賄目付 伊黑資組者 小丁人組者

一、人生質ヲ稟クル同シカラス諸役申付ノ時其質ヲ試ミ其志ヲ觀其才
 ナ量リ其職ヲ補フヘシ鑿ハ錐ノ用ヲナサス鑿ハ小刀ノ代ヲナサ

ス人モ斯ノ如シ利ト鈍ト用ニ時アリ其理ヲ明ニセサレハ君臣離ル
 心得ヘキ一條ナル事。

一、凡ソ惡質アル者ハ必ス善質アリ善質アル者ハ必ス惡質アリ其善ヲ
 採リ其惡ヲ用ユヘカラス又其惡ヲ擧ケ其善ヲ捨ツヘカラス聖朝棄
 物ナキヲ辨ヘ濫ニ捨ツヘカラサル事。

一、當家風俗右大將殿ヲ祖トス他家ニ於テ相關セス譜代士ニ於テハ小
 祿小吏ニ至ル者老臣共ヨリ其組々ノ頭人ニ傳ヘ次第ニテ申渡スヘ
 キ旨申付ヘキ事

○十三 相續及懲戒條々 國司以下相續懲戒條々ノ如シ。

一、國士領主内外士大夫家相續ノ品ハ又將軍家ト同カラス實子ヌラハ
 異母ト雖モ申付ヘシ其實子十五歳ニ足ラスシテ相果ハ其弟相續セ
 シムヘシ弟之レ無クハ遺養子願候共許容致スヘカラス十六歳以上

ハ養子相續申付ヘシ、是レ當家大炊介以來ノ古格タル事。
一、大小國司領主其官祿位次相應ノ行跡ヲ爲サシムヘシ、過分ノ事アル大祿國司又ハ高官家門ト雖之ヲ戒ムヘシ其身ニ於テ尙更將軍職分ヲ守ルヘキ事。

一、大祿外様ノ國司ハ家風祖訓當家ニ於テ與ラサル所ナリ然レトモ士ノ道大綱ヲ破リ生民ヲ損スルアル輩ハ叛逆ニ非スト雖沒収シテ亡國ノ鑑トナスヘシ是レ將軍家ノ職タル事。

○十四 朝廷尊敬條々 德川氏ノ朝廷ニ對スル政略ハ既ニ公武法制中ニ明ナリ、今百箇條中ニ見ユル所ヲ以テ補遺スルコト左ノ如シ。
一、月朔望廿八日ハ定式日ナリ年首歲末五節佳牒猪子等ノ會ニ臨ムハ潔齋シテ皇帝ニ述職シ亦從テ群臣ノ賀ニ對フヘシ、其式記錄ニ載スル所ノ如シ若シ不豫アラハ大老臣及老臣ヲシテ之ニ代ヘ禮法ヲ敗

ルヘカラサル事

一、己レ君ヲ敬スレハ則臣又之ニ倣フ敬士大夫下賤ニ至リ次第濫レス乃チ天ノ道タル事

一、勅使院使仙洞使内院使新院使副使皇后使東宮使親王家攝家清花八座九卿ニ至ルマテ對顔ノ作法古記ノ如ク不禮ナルヘカラサル事

○十五 百箇條批評 右百ヶ條ハ專ラ家康子孫ノ訓戒ニ資スルモノニシテ天下ニ布クノ法制ニ非ス、謂ハ、德川家憲トモ稱スヘキモノナリ。

然レトモ其ノ計畫ノ周密ニシテ嚴重ナルハ實ニ家康ヲ以テ藤原鎌足以來ノ大政治家ト爲スニ足ルモノアリ。法ハ人ニ依リ行ハレ、法アルモ人ナケレハ敗ル、即チ大寶律令ノ夙ニ敗レ德川權勢ノ久シキニ傳ヘタルモノ豈ニ偶然ナランヤ、鎌足ノ子孫ニシテ政權ヲ私スルモノ多シ、而シテ家康ノ子孫或ハ秀器ニ非サル者アリト雖未ダ曾テ大權

チ私スル者ヲ聞カサルナリ。家康朝廷ノ尊威ヲ知ル、是レ其ノ前出ノ諸將ニ異ナリテ本邦國体ノ大義ニ合スル所以ナリ。家康私情ヲ制シテ天下ノ公義ニ就クコトヲ知ル、是レ上下人心ノ背カサル所以ナリ。家康武備ニ偏セス、文飾ニ流レス、善ク社會勢力ノ存スル所ヲ察シテ教育ニ宗旨ニ外交ニ民政ニ計策ヲ及ホシ、凡ソ社會ニ於テ人ヲ制シ事ヲ動カスノ機因トナルモノ一トシテ其ノ制作ノ及フ所ニ非サルナシ、是レ徳川氏ノ本邦内政ノ進歩ニ偉功アリシ所以ナリ。家康權力ノ權衡ヲ保持スルコトヲ知リ、譜代外様ノ別ヨリ江戸市町大名邸宅ノ排置ニ至ルマテ綿密ニ計畫シテ權力ノ一方ニ聚マルコトヲ防キタリ、是レ徳川氏ノ權力永キニ繼續スルコトヲ得タル所以ナリ、即チ百箇條ヲ熟讀スル者ハ此等ノ點ニ注目セサラントスルモ難シ。

○十六節 百箇條別書 以上ハ當今學者ノ間ニ於テ百箇條ノ正本ト

認ムル所ニ依リ其ノ條目ヲ分類シタルモノナリ、然ルニ茲ニ又百箇條別本ナルモノアリテ駿州久能ノ寶藏ニ納メタル原本ノ謄寫ナリト稱ス、其ノ條目ヲ見ルニ前ニ載録スル所ト同文又ハ同意ナルモアレド、又全ク正本ニ存セサルモノアリテ、且頗ル重要ノ點ニ於テ異同アリ依テ茲ニ新條及別意ノ條目ヲ聚録ス。

- 一 鰥寡孤獨ノ輩ニ於テハ尤憐チ加フヘシ是レ仁政ノ基タル事。
- 一 攝州大坂落城以前ヨリ我ニ隨從ノ士ヲ譜代トス落城以後歸伏スル士ヲ外様トス外様八十六家譜代八千二十三騎外ニ同門ノ士十八家
- 一 賓禮ノ士五家此差別ヲ辨ヘテ行事一樣ニスヘカテサル事。
- 一 總テ譜代ノ士多シトイヘ我故家三河以來ノ者ヲ記ス、板倉鳥居大久保戸田土屋本多小笠原秋元榊原酒井石川久世阿部加藤等ナリ此者共ノ子孫器量備レル者ヲ撰テ將軍家ノ政務ヲ司ラシメテ老臣ト

稱スヘシ外様ノ内假令ヒ働キ衆ニ越スモ其任ニ當テ申スマシキ事
一大小譜代ノ士ハ皆我爲ニ粉骨碎身ノ忠士ナリ其子孫不行跡ニ及ト
云フトモ反逆ノ外ハ其家沒收スヘカヲサル事。

一我少時ハ敵國ヲ征伐シ父祖ノ讎ヲ報ヒントスル願ノミナリキ西譽
ノ教ニ違ヒ民ヲ救ヒ國ヲ安スルノ志天理ナル事ヲ知テヨリ一途ニ
今日ニ至ル子孫永ク此志ヲ續ヘシ違背致スニ於テハ我子孫ニアラ
ス民ハ國ノ本タル事ヲ能ク心得ヘキ事。

一新田開發ハ鎌倉殿ヨリ始ル古例ナキニアラス願ヒ出ニ於テハ吟味
ヲ遂ケ申付ヘシ併シ少モ故障ノ節アラハ堅ク申付マシキ事。

一役付ノ外譜代外様ノ大小名其事ヲ分テ參勤交代セシメ交代ノ者ハ
休息ノ序ニ國民ノ盛衰ヲ巡檢ナサシメ參勤ノ者ニハ城下外郭ノ固
或ハ破損普請手傳火災消防ノ諸役ニ宛ヘシ全ク我家ノ私用ニアラ

ス禁裡警衛ハ將軍職タル故ナリ。

一士大夫ノ内我ニ準フ者モ濫リニ近クヘカラス我ニ逆フ者モ亦濫リ
ニ之ヲ遠クヘカラス厥ノ準フ者ト逆フ者トノ行跡事實ヲ熟考シテ
老臣ト俱ニ之ヲ量リ穩カニ之ヲ遠近スヘシ恣ニ急切ニ致スヘカラ
サル事。

一西郭紅葉山ハ貞純親王以下累代源氏ノ武將ニ勸請シ城内鎮護ノ宗
廟ト爲シ末代尊敬シテ祭典懈ルヘカヲサル事。

一我清和ノ苗流三河松平姓ニ生ルト雖敵國ノ爲ニ侵サレテ民間ニ困
メラル、事久シ今恭ク天恩ヲ佩ヒ勢羅田新田徳川ノ祖業ヲ回復シ
是レヨリ累代長四姓ヲ以テ互ニ稱スヘシ終ヲ慎ミ遠ヲ追フノ教此
裏ヲ出テサル事。

一有來宗門邪宗ノ外上下同シク其意ニ任スヘシ總テ宗論ハ古來天下

ノ不吉ナリ、堅ク停止セシムヘキ事。

一源平藤橘及菅江兩家在原清原等ハ皆上帝ヨリ下賜ノ姓ナリ、此内武

ニ將タル人ヲ見ルニ其器備レ共才學拙キ人ハ聖賢ノ道ニ暗ク其謀

私意ヨリ出テ武ノ武タル事ヲ知ラス、耻辱ナキ能ハス、往々學寮ヲ設

成シテ自ラ勵シ他ヲ勵シテ共ニ其德ニ入ルヘキ事。

一治國平天下ノ方本聖門ヨリ出テ此道ニ入ラスシテ士人ヌラシコト

ヲ欲セハ猶ホ木ニ依リ魚ヲ求メ水ニ投シテ火ヲ覓ルカ如クナラン

淺間敷愚カナル事ノ酷敷事ヲ省ミ申スヘキ事。

一天元社職ノ總件ハ本朝ノ古例トシテ神官二位殿之ヲ司ル、然レトモ

武官天下ノ式法ニ違フモノアレハ痛ク之ヲ罰シテ猶豫スヘカラサル事。

一巫夫巫妓野伏山伏盲女瞽叟乞食穢多諸游民等皆古來ノ司アレ雖或

ハ爭論ニ及ヒ或ハ等ヲ除ヘテ式法ニ背ク者ハ刑罰ニ於テ厭フヘカラサル事。

一郡國公私自他所領ノ高文祿元年大河内淺野カ割付ケ候通リ記録セ

シメ禁裏ノ總政所ヘ注進ス、林野山川皆高ノ内ナリ、所領ノ高ニ應シ

公軍役申シ付ヘキ事。

一諸士所領ノ境割付ノ通毛頭違背致スヘカラス、止ムコトヲ得スシテ

爭論ニ及ヒ訴ヘ出ツルニ於テハ尤決斷所條目及記録ニ照シ裁斷ス

ヘシ、若シ事決シ難キ時ハ檢使大目付勘定奉行等ノ者ヲ其場ヘ出シ

テ古例ヲ追ヒ記録ノ通ニ申シ付クヘシ、其裁斷ニ反シ噉訴ニ及フ者

ハ其場所取揚祿ノ高ヲ減消スヘキ事。

一喧嘩刃傷兩成敗ナリ、但場所ニ依リ仕除タルヘシ、其跡或ハ下手人ヲ

取リ或ハ當人ヲ搜出スニ及ハサル事

一巧テ人ヲ殺シ或ハ意趣ヲ含ミ或ハ私欲ノ爲メ毒害シ或ハ盜賊ヲナシ人ヲ傷クル等ノ族ハ草ヲ分ケ探シ出シテ誅戮スヘキ事。

一男女室ニ居ルハ人ノ大倫ナリ、十六歳以上獨居スヘカラス媒灼ヲ求メテ婚姻ノ禮ヲ結フヘシ、然レトモ同姓ヲ娶ラス家筋血筋ヲ撰ヒ縁ヲ結フヘシ、子孫相續スルトキハ各先祖ノ開顔人々天理ノ本ナリ、此旨失ハヌ申シ渡スヘキ事。

一天子巡狩諸侯述職ノ代リトシテ或ハ五年或ハ七年ニ諸國巡檢使ヲ出シ國司領主ノ宴居行跡民家ノ安否耕作ノ盛衰城館ノ修治等ヲ試ムヘシ是又斷絶スヘカラサル事。

一舊來ノ國司ハ相關セス其レヨリ以下ハ所領ノ地永代ヌラシムヘカラス、年々相量リ所領ノ地移易ナスヘシ、永代セシムル時ハ必ス己ヲ驕リ民ヲ傷マシムルニ至ル事。

一妻妾ノ差別ハ君臣ノ禮ヲ以テスヘシ、妾ハ天子十二妃諸侯八嬪大夫五嬪士ニ二妾其以下ハ匹夫ナリ、古聖是ヲ禮記ニ記ス古今ノ常典ナリ、愚者ハ之ニ昧シ愛妾ノ爲ニ本妻ヲ蔑ニシ大倫ヲ亂ル、古ノ傾城亡國者ハ皆是レヨリ出ツ、豈ニ寔ニ戒メサルヘケンヤ、之ニ溺ル者ハ忠信ノ士ニ非スト兼テ知ルヘキ事。

一本夫外ヲ守リ本妻内ヲ納ムル天下ノ通義ナリ、本妻外ヲ守レハ則本夫職ヲ失フ、亡家ノ前兆ナリ、牝鷄晨スレノ病是ナリ、諸士ニ對シ此病ヲ察スヘシ、是又人ヲ知ルノ一助ナル事。

一郡國海險ノ通路大小ノ關町十六ヶ町男女ノ亂統ヲ誠メテ邦域ノ固ト爲ス、祿ノ高下ニ拘ラス由緒譜代ノ士ヲ以テ之ニ勤番セシムヘシ、其掟規條書ノ通り事アルニハ針ヲモ容レサルヘシ無事ニハ車馬ヲモ通スヘキ事。

一九州探題職ハ大友以來久シク中絶ス此職是レヨリ島津鍋島兩家ニ命ス隔年タラシムヘシ永々此職他家エ申付マシキ事。

一武府城下ノ幕番所内郭廿八ヶ所外郭廿八ヶ所勤番ハ内郭ハ譜代在府ノ士外郭ハ旗下參勤之士タルヘシ其掟ハ勿論武器刀戟器械等ニ至迄見苦シカラサル様申付クヘキ事。

一參勤ノ土城下ノ諸役等ハ其働ニ鑑ミ其祿ニ高下ニ依リ相應ニ申付クヘシ但重役ハ無用タルヘシ其内遊兵トシテ三四五家ヲ差置不時ノ公用申付クヘキ事。

一國家造化ノ變ニ依リ山川渡海崩壞ニ及ヘハ則補修ノ費用ハ其國相連リ隣國ヨリ石高ニ應シテ之ヲ出シ之ヲ國役冥加金ト名ツテテ倉殿聖代ノ例ヲ引キ之ヲ始メラル此理全ク私意ニ非ス後代永ク此例ヲ追フヘキ事。

一天下ノ道路自他領共ニ大海道ハ其幅六間並木ヨリ左右共二十間宛小海道ハ其幅三間路傍ヨリ左右共十間宛横道馬道ハ其幅二間道傍ヨリ左右共五間宛步行路其幅一間路傍ヨリ左右共一間宛捷道作場道其幅三尺路傍ヨリ左右共三尺宛船渡場ハ川端ヨリ雙方左右共六十間宛皆竿ヲ除クテ定法ト爲ス尤其間ニ置郵シテ公命ヲ傳ヘシム且以テ旅人往來ノ資トナスノ給分マリ是レ當祖大炊助以來ノ古格タル事。

一山川海濱等ノ諸運上金濫ニ是ヲ用ユヘカラス皆禁裏ノ費用ニ當ツヘキ事。

一農民耕土ニ於ニ屋敷ヲ構フルヲ許サス四壁ノ竹木生覆フ時ハ諸作ノ害マリ新山古山ノ争訴出ル時ハ其林ノ内目通圍三尺ニ及フアレハ古山タルヘシ三尺ニ及ハスハ新山タルヘシ殘ラス伐拂ハセ非分

ノ者百日閉居申シ付クヘキ事。
 一國々在邊道橋大破ニ及フモ往來ノ難義ヲ察セス、又ハ用水堀惡水堀
 手前手前ノ用之レ無シトテ打捨置キ、川浚ヒ致サス、堀上堀下ノ煩ヒ
 ナ願ミサル村々之レナキ様ニ勘定所ヨリ諸領殘ラス例年觸出シ申
 スヘキ事。

一古ヨリ水魚ヲ以テ君臣ノ和合ニ喩フ、此ノ如クナラン事ハ又難カラ
 ス、己レ欲セサル所又人ニ施スナカレノ金言大意ヲ忘レサレハ下其
 德ニ化セラレ只臣ノミニアラス萬國水ノ下レルカ如クナル事。

一自他身ヲ神國ニ受クル者儒釋仙道等ノ外國ノ教ヲ以テ之ヲ先キニ
 シ之ヲ專ラニセハ則暫ク我主人ヲ闕キ忠ヲ他人ノ主ニ勵ムカ如シ、
 是レ本ヲ失フノ理ニアラスヤ、此間ニ於テ而シテ用捨勘辨詳ニスヘ
 シ、其餘幻惑咒術ノ道ハ必シモ好ミ用ユヘカラス、又強テ廢スヘカラ

サル事。

一主人死シテ其臣殉死ニ及フ事古例ナキニアラサレトモ聊以テ其理
 ナシ、君子已ニ備テ作ルヲ誹ル、直臣ハ勿論陪臣以下迄堅ク之ヲ制ス
 ヘシ、若シ違背セハ却テ忠信ノ士ニ非ス、其跡沒収シテ犯法者ノ鑑メ
 ラシムヘキ事。

一武威充溢已レ驕奢ナシト雖、自然資祚ヲ輕シテ其慎ヲ懈ル古ヨリ皆
 然リ、神國ノ本ヲ失ヒ私欲ノ源ヲ漲ラシ、其辜輕カラス、必天誅ヲ蒙ル
 事。

一親王宮家方天子ニ攝シ尊崇シ奉リ、丞相則闕ノ公卿等相續テ古法ニ
 違ハス、無知ノ働ヲナシ、禮末ノ振舞仕ルマシキ事。

一名古屋若山水戸ノ三主ニ續テ家門十五家ノ子孫家督ハ嫡子相續シ
 二男三男等所領ノ高ヲ配分スヘカラス、由緒高祿ノ家ニ贅リ縁ヲ結

フヘシ、其所縁ノ家ハ家門ニ準ヘテ和盟スヘシ、然レトモ十八家トハ同然メラサル事。

一拾萬石以上並老臣及表役諸番頭等ハ縦ヒ小祿ヲリトモ一國一城ノ格式タルヘキ事。

一譜代外様諸家ノ士大夫參勤交代驛路ノ行列堅ク作法ヲ守リ分限ノ外華麗ナルヘカラス、又格當ニシテ專武威ヲ顯リ旅館ノ人夫ヲ惱スヘカラス此旨暇ノ節老臣ヲ以テ申渡スヘキ事。

一海陸舟筏人馬ノ賃料ハ路徑ノ遠近ヲ量リ駄賃運賃夫賃等及貫目ノ輕重ヲ積リ委曲定法ヲ以テ申付ヘシ、但公用傳馬ハ遲滯ナキ様吟味セシメテ格別ト爲スヘキ事。

一譜代外様國司領主參勤ノ砌玉帛ヲ以テ當役老臣ニ支配ノ禮ヲ致スヘシ、萬石以上金馬代萬石以下銀馬代各其高ニ應スヘシ、老臣之ヲ納

メ當役料ニ宛ツヘキキ事。

一寺院山門建立ノ事、我擅林ヲ開クノ時天台座主ヨリ之ヲ難詰セラレ、其文ニ曰、我山ハ天ノ中央三台星ノ下ニ當ル、先帝異朝帝都ノ守護天台山門ヲ移シ、永ク本朝王城ノ守トナス、之ニ依リ山門ト號スルモノ、日本國內唯我山ノミナリ、將軍別ニ山門ヲ建テハ其例如何ト、此時ニ當リ我之ニ對フルノ辭ナシ、漸ク今上皇帝萬歲ノ壽位ヲ安置スルヲ以テ之ニ答フ、是ニ於テ六十餘州ノ寺院ヲ相改メテ山門ヲ置ケモノ、七十三箇所ナリ、其員數ヲ記シ、文祿二年四月十一日天台山ニ贈ル、將來此例ヲ知リテ恣ナル手始メ仕ルマシキ事

一羽林家征夷大將軍ノ職ニ任スル者、鎌倉殿以來辱クモ天子自ラ三挺斧鉞肘後ノ印ヲ授ケ、三才ノ號令ヲ許シ給フ、此職神祇官ニ均シ、上下出勤ノ士ハ專ラ肉緣死亡ノ汚穢ヲ避ケ、古法ノ如ク相守リ相慎ムヘ

キ事。

一己レノ稼穡ヲ忘レ博奕シテ亂酒ニ及フモノ、白晝ノ贖本ナリ然レトモ犯上災ニ非ス、之ヲ緩ニスレハ則下賤ノ者是ヲ倡ヘテ破家亡身ニ至ル、故ニ師トシテ教ヘサルハ師ノ過ナリ、教ヘテ用井サルハ弟子ノ愆ト云ヘリ、是ヲ以テ刑罰ノ輕重ハ其品ニ依ルヘキ事。

一總テ四民各己レノ職分ヲ懈ル故ニ飢寒ニ逼リ竟ニ盜賊ヲ致シ、法ヲ犯シ人ヲ惱シ重罪ヲ爲ス時ハ斬刑ニ處スヘク、放火謀判流毒似金ノ惡徒ハ炮烙梟磔等ノ嚴科ニ處スヘキ事。

一凡事穿鑿ニ及フノ時ハ公武ノ威ヲ以テスレハ則天壤ノ間夷狄戎蠻ノ遠草ノ根土ノ下ニ至ルマテ明白タラスト云フ事ナク、採リ難キハ只人ノ心緒ノミ、鎌倉殿大唐倅卓ノ例ヲ用井下賤ノ心ヲ照鑑セラレ城下ノ街衢ニ金銀ヲ掛ケ或ハ制札ニ褒美ノ次第ヲ記ス、今縱ヒ之ヲ

用トモ士以上ノ胸次ニ照スニ足ラサル事。

一上ニ規條ヲ立テ下ニ其號令ヲ出スト雖、上ノ行跡規條ノ如クニ非サレハ下之ヲ侮リ服セス言行一致ノ場ニシテ容易ナラサル所ナリ、我身ニ對シ遂一ニ之ヲ研究スヘキ事。

一大祿ノ國司城主天下ニ對シ曾テ想設セサルノ過又了簡達等之レアル時之ヲ罰スルニ及ハス、其通ニモ拾置カサル時ハ科料トシテ祿高ヨリ外ノ大役申付クヘキ事。

一禁裏仙洞ノ崩御后妃宮方ノ薨去ハ天下ノ諒闇國家ノ大變ナリ、上古ハ四海八音ヲ遏密シ正朔五節玄緒嘉定等ノ祝席モ最穩便ナルヘシ、相續テ丞相三公將軍及政道ノ當役人凡ソ喪アレハ則日限ヲ以テ之ヲ分チ鳴物一切停止セシムヘキ事。

一天子踐祚及大嘗會興行ノ用費ハ當家ノ當役アリ、萬般略吝スヘカテ

サル事

一外國遠嶼ノ異人船不時ニ着船致サハ速カニ之ヲ注進セシムヘシ、通詞筆談ヲ以テ其所用ヲ審ニシ、品ニ依リテハ憐惠シ又ハ嚴密ニスヘシ、尤番役添置キ活計スヘカラサル事。

一萬乘ノ帝位ニ居リ庶民ヲ視ル赤子ヲ保スル如シ、當家天下ヲ率ルモ又尙斯ノ如クナルヘシ、之ヲ號シテ仁トイヘリ、此仁中五倫貴賤ノ差等ヲ別ツ我之ニ倣ヒ譜代外様ノ親疎ヲ分ツ、是天理當然ノ政道ナリ、最負偏頗私意ニ非ス、舌筆ヲ以テ汗スヘカラス此親疎ノ間ニ於テ深ク心ヲ潜メ自ラ知ルヘキ事。

一我此職ニ居ルヨリ源家歴代ノ古格ヲ損益シテ數箇條ノ法度ヲ立ツト雖述テ作ラサルノ意ニシテ全ク我意ノ新規ニ非ス、之ヲ體シテ體鑑ト爲サハ、中ラスト雖遠カラス、總テ政道ハ巨細ニ拘ラヌ温故取リ

行フヘシ枚舉ニ違アラサル事。

日本古代法釋義終

古代法釋義

明治二十六年四月十二日印刷
明治二十六年四月十五日出版

版權所有

定價金壹圓

編述者

有

賀

長

雄

麴町區永田町一丁目卅番地

發行者

牧

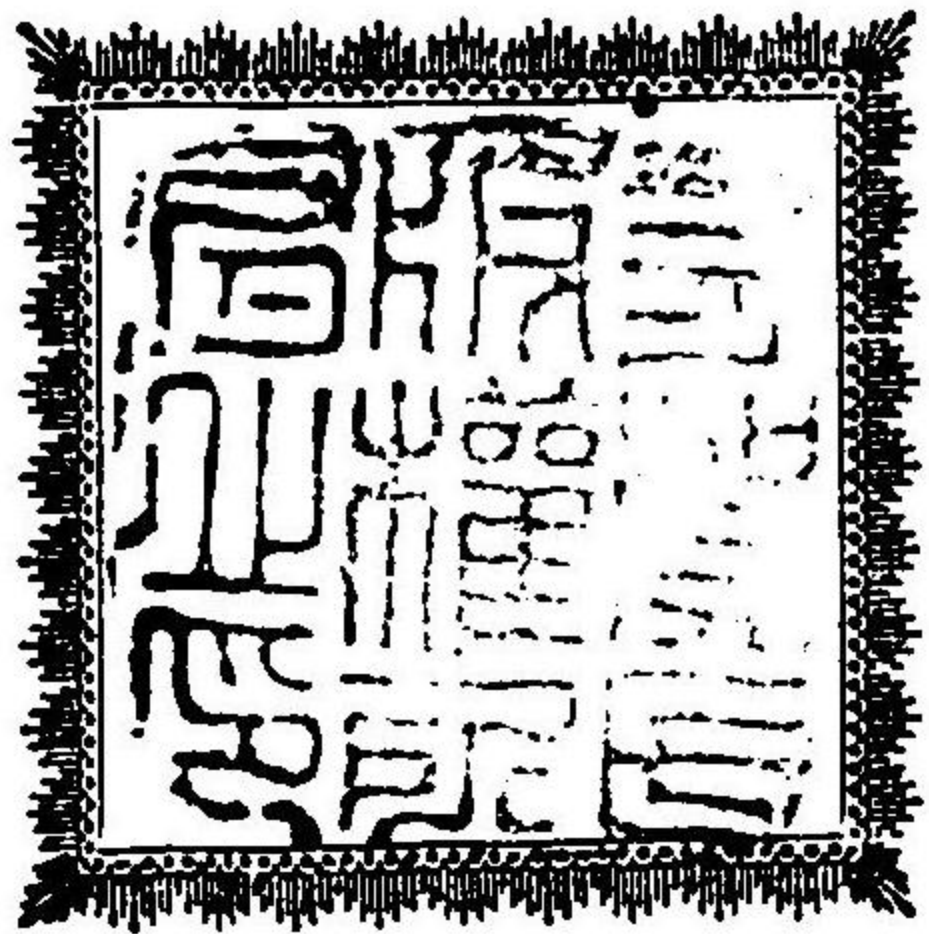
野

善

兵

衛

神田區小川町十番地



印刷人

八

尾

新

助

神田區錦町三丁目八番地

○ 牧野書房發行書目概表

- 皇典講究所校閱 講師井上賴剛先生 檢定
 東京專門學校陸軍大學校 三橋要也先生 訂
 陸軍經理學校明治法律學校 文學士
 校皇典講究所 講師
- 帝國史略 全三冊 上卷定價五拾錢
 中卷定價四拾錢 下卷
 內閣總理大臣伯爵伊藤博文公題辭
 海軍大臣了齋仁禮公題辭
 內大臣侯爵德大寺實則公題辭
 樞密顧問官子爵海江田傳義公題辭
 平陽學人 西河精先生 編述
- 最新實歷史傳 全十冊 前編三冊中編四冊
 後編三冊每冊定價金壹圓
 米國 ドクトルデガールモ氏原著
 日本 本莊太一郎先生譯補
- 俄新式教授術 全一冊 定價九拾錢
 俄國大學教授リンドネル原著
 日本 文學士有賀長雄先生譯
- 麟氏教授術 第三版 定價七十錢
 全一冊
 獨逸大學教授哲學博士ロイゼンクランツ氏著
 日本 文學士國府寺新先生譯註
- 麟魯氏教育學 全一冊 正價八拾錢
- 大槻文彦先生編
 ○ 日本言海 大本 前製本正價金二圓九拾錢
 全一冊 上紙上製正價四圓五十錢
 英國 文學博士スカープローニンツ氏著
 日本文學士三宅雄二郎先生校閱山本義明先生譯註
- 標教育學說史 全一冊 定價八拾錢
 文學士有賀長雄先生譯述
- 教育心理學 全二冊 上卷定價金一圓三十錢
 下卷定價金一圓五十錢
 英國ゼームス・サレー氏原著
 日本 和久正辰先生譯述
- 左應用心理學 全二冊 上卷定價金壹圓廿錢
 下卷全
 和久正辰先生譯述
- 初等心理學 全一冊 定價五十錢
 獨逸法學博士フリッケ氏著
 日本 松田正久先生譯述
 文部省檢定濟尋常師範學校中學校教科書
- 布氏道德學 全一冊 定價八拾錢
 米國 ジョノット氏原著 文部省檢定
 日本 文學士有賀長雄先生譯註 師範學校教科用書
- 如氏教育學 全二冊 上卷定價金一圓三十錢
 下卷全

31.4.23

獨逸博士
キール氏原著
貴族院書記官法學士有賀長文氏譯
前大學總長 渡邊洪基先生序言

○國民理財學

全一冊 定價八拾圓

獨逸大經濟學士フレデリック・キースト氏著
從六位 大崎貞益先生譯
東京府知事 富田鉄之助 校附 及序文

○李氏經濟論

第二版 定價金一圓三十錢
全二冊

內閣書記官文學士有賀長雄先生編著

○行政學

內務部 大本洋裝
全一冊 定價金壹圓八拾錢

公爵島津忠義公題辭 子爵海江田信義公題辭
伯爵伊藤博文公題辭 文學士有賀長雄君筆記

○須多因氏講義

全一冊 本誌上製正價
四十五錢 郵稅十錢

內閣書記官文學士有賀長雄先生著

○補國家學

定價金一圓四十錢

英國スベシサー、ワルポール氏原著
文學士阪谷芳郎先生山城哲造先生共譯

○國民ト國會ノ關係

定價八十錢

文學士辰巳小二郎先生正解
英佛米對 帝國憲法正解 全一冊
定價金七十五錢

○財政學

注學士嵯峨根不二郎先生編述
全三冊 上卷定價金壹圓三十錢
中卷定價金壹圓三十錢
下卷近刻

○補社會進化論

全一冊 定價金壹圓三十錢

○補宗教進化論

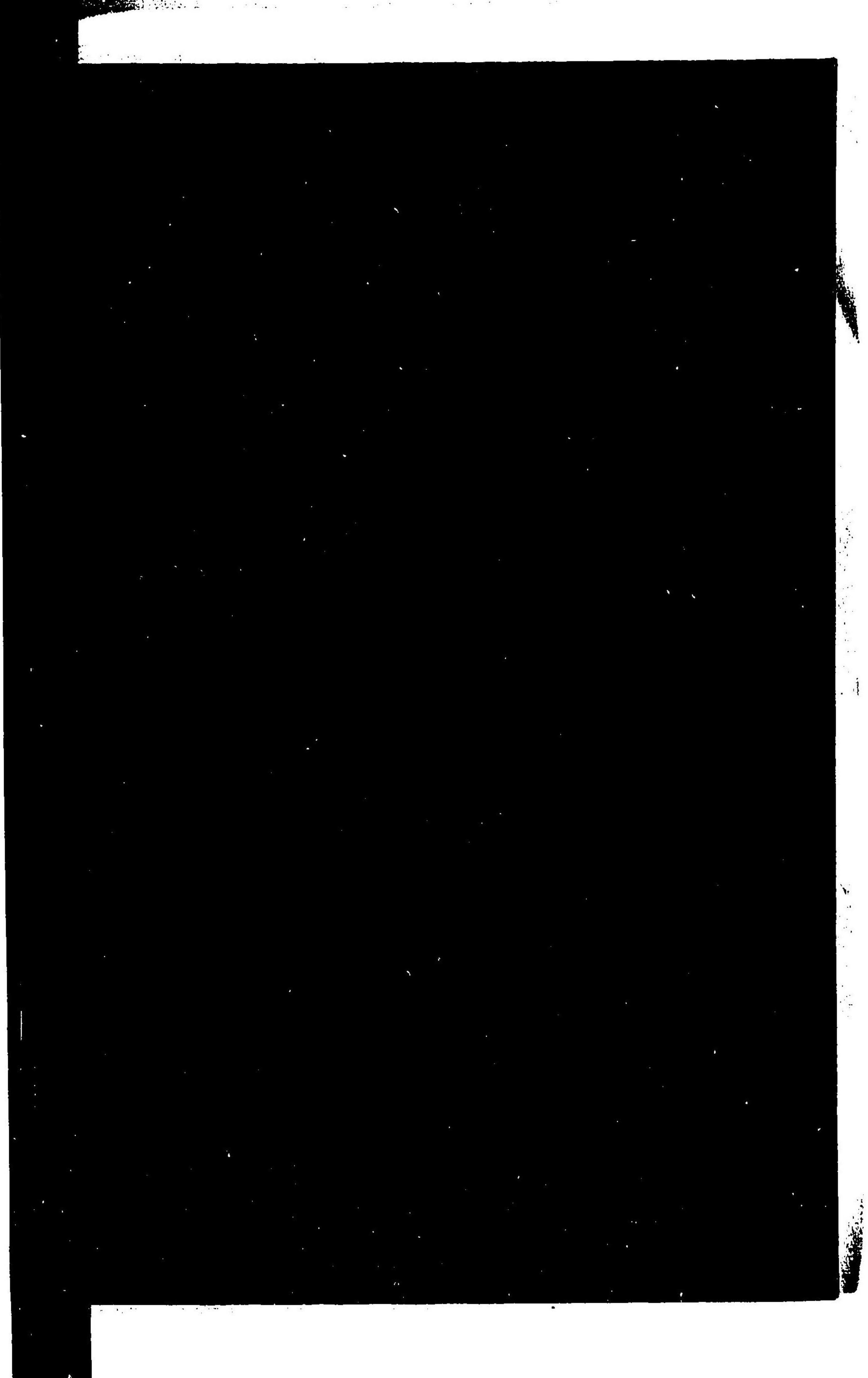
全一冊 定價金壹圓三十錢

○補族制進化論

定價八十錢

●本表中定價ト記シ候分ハ定價金御送附
ノ上ハ郵稅弊店所辨ニテ速ニ御送附可
仕又部數ニ依リ割引モ仕候

●本表中正價ト記シタル分ハ郵稅別ニ申
請ク又ハ通達先拂ニテ御送附可仕候
●郵便爲替ハ神田一ツ橋通町郵便支局拂
ニ願候



322.1

A748 n

030770-000-5

322.1-A748 n

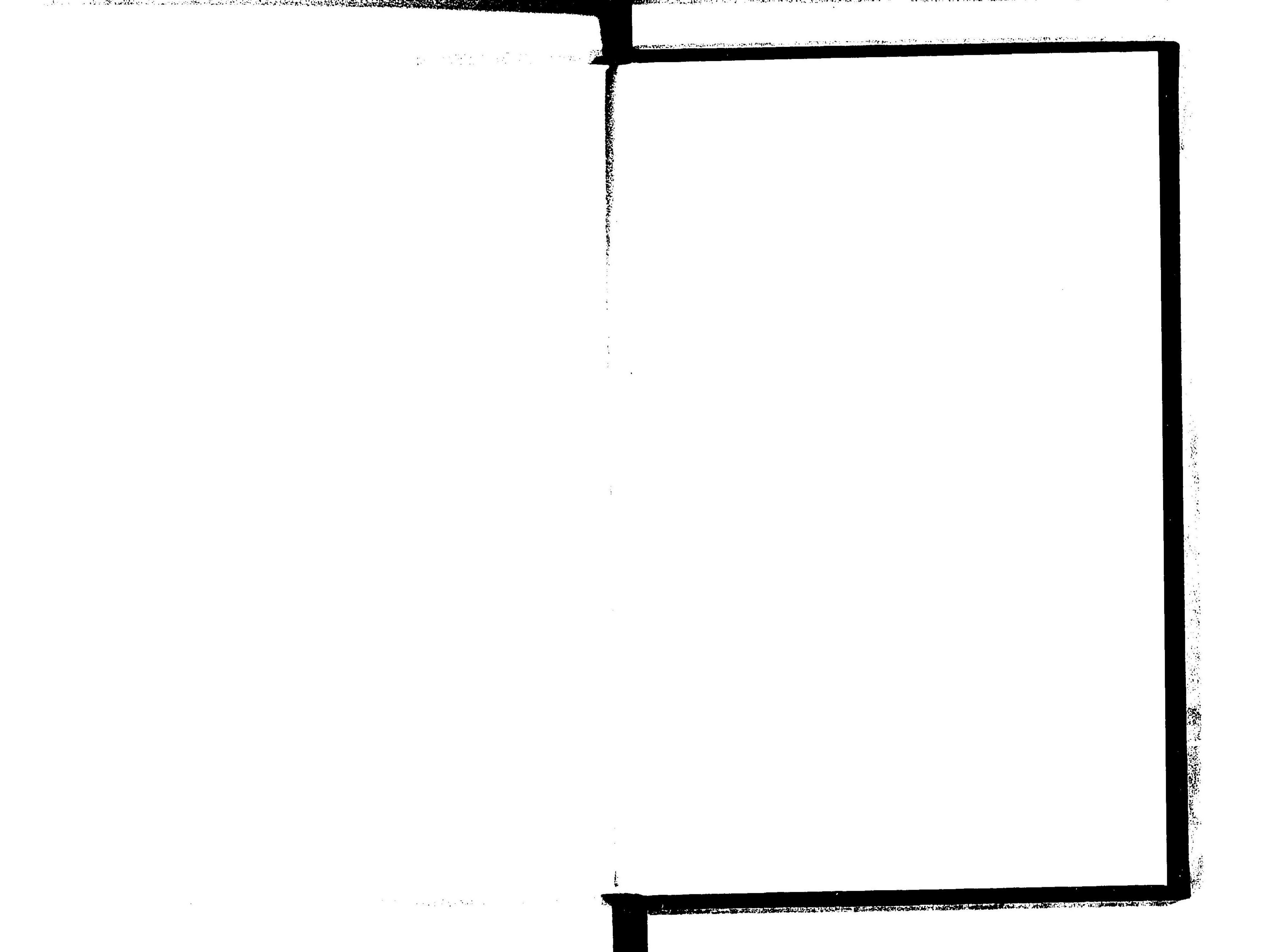
日本古代法釈義

有賀 長雄 / 述

M26

BBB-0298





THE UNIVERSITY OF CHICAGO

